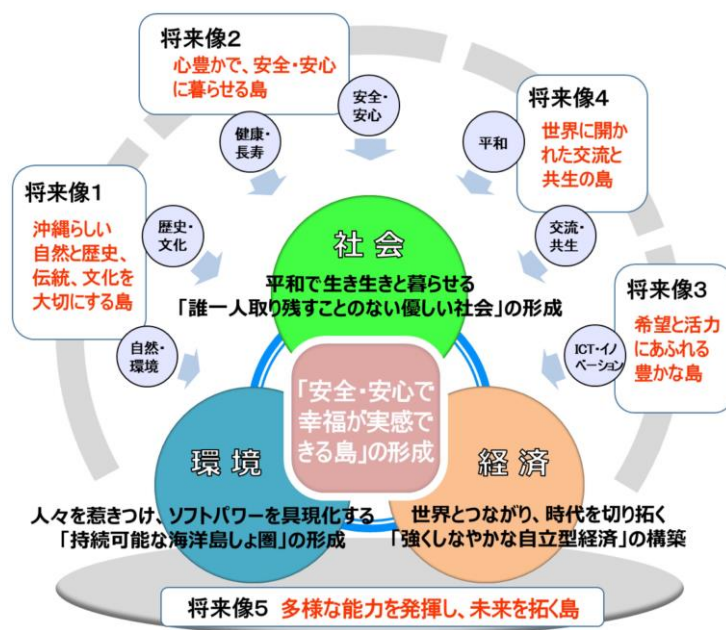


## 参考資料

### 1. 新・沖縄21世紀ビジョン基本計画（沖縄振興計画）

令和4（2022）年5月に策定された「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画（沖縄振興計画）」は、沖縄振興特別措置法に基づき、沖縄振興分野を包括する総合的な基本計画であり、沖縄振興の基本方向や基本施策等を明らかにするものである。計画期間は「沖縄21世紀ビジョン」が想定する概ね20年の後期10年に相当する、令和4（2022）年度から令和13（2031）年度である。計画策定の意義としては、「（1）沖縄振興策の推進」「（2）日本経済発展への貢献－我が国とアジア諸国・地域を結ぶ拠点－」「（3）海洋島しょ圏の特性を生かした海洋立国への貢献－海洋政策の拠点－」を挙げている。

#### ■計画の概念図



#### ① 「風景」「景観」の位置づけ

新・沖縄21世紀ビジョン基本計画（沖縄振興計画）中で、「風景」「景観」のキーワードが記載されている箇所を整理した。

#### ■新・沖縄21世紀ビジョン基本計画における「風景」「景観」に関する施策【第3章基本施策】

項目	施策（○番号は上記の分野を示す）	頁
1 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島を目指して		
(1) 世界に誇れる島しょ型環	● 主要道路及び観光地へのアクセス道路等について	36

項目	施策（○番号は上記の分野を示す）	頁
境モデル地域の形成 ウ 人と環境に優しいまちづくりの推進	は、適正な植栽管理、飾花を行い、世界水準の観光地にふさわしい沿道景観の形成や、周辺環境と調和のとれた沖縄らしい風景づくりに重点的に取り組む	
(5) 悠久の歴史や伝統文化に育まれた魅力ある空間と風土の形成 ア 首里城の復興	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 首里城を中心とした首里杜地区において、「新・首里杜構想」による歴史まちづくりの実現に向けて、行政・有識者・住民・企業等の関係者が連携して、自然・歴史・文化を感じる景観の創出に取り組む</li> </ul>	53
イ 沖縄の歴史と景観に配慮した千年悠久のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 沖縄らしい風景・景観を県民共有の財産として次世代に継承し、人々を惹きつける価値創造型のまちづくりを進める</li> <li>● 風景づくりの主体である市町村の景観行政団体への移行促進や地域住民が主導的役割を担う風景づくりの推進体制の構築を促進するとともに、市町村間連携による広域的な風景づくりに取り組む</li> <li>● 景観地区の指定や景観アセスメントの実施も踏まえ、潤いのある公共空間の形成に取り組む</li> <li>● 沖縄らしい風景づくりや景観形成に向けて、風景・まちなみの再生を先導し専門的な知識を有する人材の育成や技術開発に取り組む</li> <li>● 歴史と調和した景観の創出を図る</li> <li>● 古民家等の保全に向けた技術者の育成や資材の確保等により、古民家や御嶽・拝所・石垣・赤瓦など各地域の景観資源の保全等に努める</li> <li>● 環境保全や景観に配慮した河川や海岸の整備に取り組む</li> <li>● 防災面での機能も併せた電線共同溝による無電柱化等を推進し、良好な景観の創出に取り組む</li> </ul>	54 ～ 55
<b>2 心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して</b>		
(4) あらゆるリスクに対応する安全・安心な島づくり イ 大規模災害に備えた強くしなやかな県土づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高潮及び潮風害対策については、景観や生態系等の自然環境に配慮するとともに、背後地の状況を考慮した海岸保全施設や防風・防潮林等の整備に取り組む</li> </ul>	69
<b>3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して</b>		
(2) 世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 沖縄らしい風景の保全や創出、憩いの場やレクリエーション施設の整備に加え、空港、港湾の緑化、良好な沿道景観の形成など、観光地としての受入品質を</li> </ul>	92

項目	施策（○番号は上記の分野を示す）	頁
ア 「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進	単なる「安全・安心」だけではない「快適」なレベルまで高め、誰もがリラックスして楽しめる国際的な観光地にふさわしい観光まちづくりに市町村、観光協会、観光関連団体と連携して取り組む	
(7) 亜熱帯海洋性気候を生かした持続可能な農林水産業の振興 キ 魅力と活力ある農山漁村地域の振興と脱炭素社会への貢献	● 農山漁村が有する豊かな自然環境や沖縄らしい風景づくり、歴史・文化等の地域資源の保全・活用を図り、農山漁村の多面的機能の維持・発揮に取り組む	121 ～ 122
(8) 地域を支える第2次産業と県産品の振興 ウ 建設産業の持続可能な発展	● 新たな工法・資材等の技術開発に取り組む企業や大学等と連携し、自然環境の保全・再生、循環型・低炭素都市づくり、沖縄らしい風景づくり、耐震化・老朽化及び長寿命化、生産性の向上等に関する取組を促進	125
(13) 駐留軍用地跡地の有効利用の推進	● 駐留軍用地跡地の有効利用と県土構造の再編により、世界に誇れる沖縄らしい風景の再生や景観の創出、新たな都市空間の形成、平和・共生を理念とし、環境に配慮した持続可能な沖縄の発展を目指す	146
4 世界に開かれた交流と共生の島を目指して		
(1) アジア・太平洋地域の平和構築に貢献する地域協力外交の展開 ア アジア・太平洋地域の平和発信拠点の形成	● 戦跡として唯一の国定公園である沖縄戦跡国定公園を中心とした戦跡の保存・活用など平和発信地域を形成するとともに、当該国定公園の特別地域の範囲の見直しを図るなど、平和の発信と歴史的風景の保全を両立する地域の形成を図る	149 ～ 150

## 2. 参考事例：福岡県美しいまちづくり協議会

福岡県美しいまちづくり協議会は、多数の構成員により活動が継続されており、協議会の参考例として以下に掲載する（情報は令和5年3月時点）。

### ■ 概要

【設立】2007年2月

【団体数】138団体（行政62、大学8、NPO等の民間団体67と事業所1体）

・福岡県と県内の市町村、大学、NPO等の民間団体、個人が横断的に参加する組織。

会長	坂井 猛（九州大学教授）
副会長	日高 圭一郎（九州産業大学教授）／荒木 正勝（荒木一級建築士事務所）
事務局	福岡県都市計画課（担当団体：NPO法人 男女・子育て環境改善研究所）

・4部会「総務・企画部会」「交流部会」「学習会部会」「景観大会部会」に分かれて活動。

部会名	活動内容	部会長
総務・企画部会	まちづくり団体活動表彰制度の運営・協議会の活動やプロジェクトを企画します。	公益社団法人 福岡県建築士会／柳川市
交流部会	各地の景観やまちづくり活動の体験、交流などを企画実施します。	小郡まちづくり協議会／大牟田市
学習会部会	景観や美しいまちづくりに関する学習会を企画、実施します。	龍王・山・里・川の会／豊前市
景観大会部会	景観フェスタ及び美しい景観選（作品募集）を企画、実施します。	NPO法人 男女・子育て環境改善研究所／福岡県

### ■ 継続性

年に数回の会議を開き学習会や、現地見学会、会員交流会を開催するほか、年に1回「ふくおか景観フェスタ～福岡県景観大会」を開催し、福岡県の景観をつくり守り育てる活動の紹介などを行っている。

### ■ 主な活動内容

#### 福岡景観100選

福岡県の市町村から応募された自慢の風景の中から、「福岡らしいな、いいな、訪れたいな、100年先まで伝えたいな」と思う風景・景観を皆さんの投票で選び、協議会HPに掲載。

#### ふくおか景観フェスタ

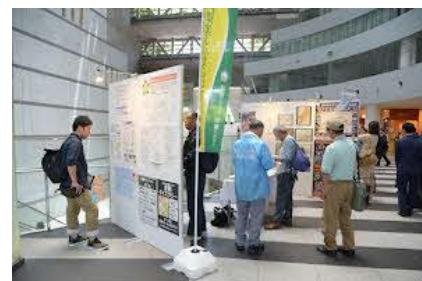
2007年から計14回にわたって（第14・15回は中止。第16回はR4/5/28に開催。）ふくおか景観フェスタ（福岡県景観大会）を開催。各地のまちづくり活動紹介、基調講演、美しい景観選入賞作品展示、表彰、体験コーナー、クイズラリーなどを実施している。

#### 美しい景観選

大賞、金賞等を選び、福岡県景観大会で表彰。また、入賞作品は県内各地で展示。

#### 景観まちづくり体験体感ツアー

各地で取り組まれている、まちづくり・景観づくり活動について学ぶとともに、実際に多くの人の手によってつくられ守られてきた景観を見るためのツアーを開催。※2009～2019年度実施。



### 3. 用語集

---

#### 【CSR】

CSR(Corporate Social Responsibility)とは、企業が果たすべき社会的責任のこと。企業は利益の追求を行うだけでなく、広くステークホルダー(利害関係者など)に対して責任を負うべきであるという考え方。

#### 【DX】

DX(Digital Transformation)とは、デジタル技術を用いることで、生活やビジネスがより良いものへと変容していくこと。

#### 【ESG】

Environment(環境)、Social(社会)、Governance(ガバナンス(企業統治))を考慮した投資活動や経営・事業活動を指す。

#### 【GIS】

GIS(Geographic Information System(地理情報システム))は、地理的位置を手がかりに、位置に関する情報を持ったデータ(空間データ)を総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にする技術である。

#### 【SDGs】

SDGs(Sustainable Development Goals)とは、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標である。17のゴール・169のターゲットで構成される。

#### 【Society5.0】

現実空間と仮想空間が一体となり、さまざまな社会問題の解決と経済発展を実現する社会のこと。現実空間の情報がセンサーやIoT機器を通じて仮想空間に集積され、このビッグデータをAIが解析し、現実空間に還元していく仕組みとなる。

#### 【XR】

XR(エクスアールまたはクロスリアリティ)とは、VR(仮想現実)、AR(拡張現実)、MR(複合現実)、SR(代替現実)など、現実と仮想の世界を融合して疑似体験を提供する空間を創り出す画像処理技術の総称のこと。

#### 【オープンデータ】

行政機関等が保有する公共データを機械判読に適したデータ形式で、かつ誰もが二次利用を可能とするルールによって公開されたデータのこと。

#### 【オープンスペース】

大規模なビルやマンションに設けられる空地であって、歩行者用通路や植栽などを整備した空間。広い意味では、都市における公園・緑地・街路・河川敷・民有地の空地部分などの建築物に覆われていない空間を総称して呼ぶ場合がある。

#### 【クラウドファンディング】

「群衆(クラウド)」と「資金調達(ファンディング)」を組み合わせた造語で、「インターネットを介して不特定多数の人々から少額ずつ資金を調達する」ことを指す。

#### 【グリーンベルト】

グリーンベルト(植生帯)とは、裸地や畑の周辺、斜面の下側などに、樹木や草木などの植物を帯状に植えることにより、水の流れを弱めたり、濁水中の土粒子を捕捉し、赤土等の流出を防ぐ対策方法。

#### 【ワーケーション】

観光地やリゾート地において、テレワークで働きながら休暇をとる過ごし方。



## 4. 計画の全体像

● 計画の全体像



R4.5 新・沖縄21世紀ビジョン基本計画

R4.9 新・沖縄21世紀ビジョン実施計画

【社会情勢の変化】

・ソフトパワー ・SDGs ・ポストコロナ ・サステナブルツーリズム ・オーバーツーリズム ・高齢化

C 人と暮らし

D1 生活景

・季節のうつろいや生活を感じさせる風景づくり  
→景観計画の策定・改定（再掲）

D2 夜景

・地域の魅力を高める夜景の創出・演出  
→夜間景観誘導措置を定めた景観計画増

D3 伝統・芸能・まつり

・歴史・文化が息づく伝統の風景の保全・創出等  
→文化財の指定件数増

D 公共空間等

D1 大規模開発

・望ましい県土構造の姿をみすえた風景の創造等  
→景観アセスメント数

D2 道路・河川・海岸等

・自然景観や歴史的風土に配慮した風景の創造等  
→無電柱化整備総延長

D3 拠点施設等

・沖縄らしさや亜熱帯海洋性の風土を感じさせる風景の創造等  
→景観アセスメント数（再掲）

D4 屋外広告物

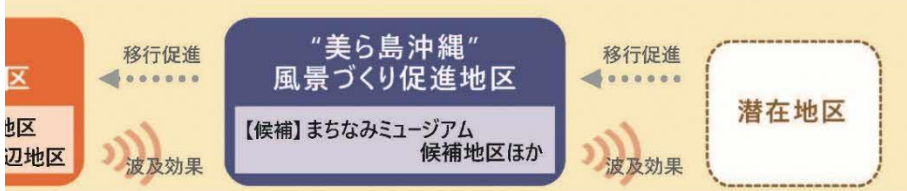
・地域に不調和な屋外広告物を再構築し、地域の魅力の向上  
→屋外広告物コンクール回数

凡例  
目標  
方針  
→目標指標

(3) 研究開発

要な人材の育成を図る  
会等参加者数

・沖縄の多様な景観を構成する素材や材料等、良好な景観形成に係る建築技術等の研究開発を効果的・効率的にすすめる  
→良好な景観形成に係る建築技術等の研究開発件数



沖縄県景観形成基本計画)

ある空間と風土の形成（新・沖縄21世紀ビジョン基本計画）

